

令和 7 年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

4 年

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	------	-----	---	------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 言語能力の基礎を育成することを目指す</p> <p>②（思考・判断・表現） 表現能力を高めるための基本の力（認識力・思考力・感受性）を伸ばすことを目指す</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 現代人として生きるための言語感覚を磨くことを目指す</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字の学び直し	<p>（知 技）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【自己PRと面接】⑪ 1自分を見つめて 2効果的な自己PR 3将来の自分を考えよう 4志望理由を書こう 5自己推薦書や学修計画書を書く 6面接にチャレンジ 実践トレーニング② 履歴書の書き方 表現への扉5 * 単元テスト	<p>（知 技）自分の特長を他者に的確に伝える方法を身に付けることができるようになった。</p> <p>（思判表）多角的に物事を見、情報を収集することで、自分のことを表現することができるようになった。</p> <p>（主体性）自分自身のこれまでの生き方やこれから生き方について考えることができるようになった。</p>	(知 技) ワークシート 単元テスト 指名音読 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【言語事項】① 漢字の学び直し	<p>（知 技）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
前期末 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字・語句の意味	<p>（知 技）常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出

後期中間 まで (18時間)	【書いて伝える】⑪ 1言葉と表記 2整った文を書く 3相手に応じた言葉遣い 4わかりやすい文を書く 5文のつなぎ方 実践トレーニング① 表現への扉 1 漢字使い分けミニ辞典 * 単元テスト	(知 技)書き方の基本を理解することができるようになった。 (思判表)原稿用紙(縦書き・横書き)の使い方を確認し、相手に伝えることを意識して分かりやすい文章を書くことができるようになった。 (主体性)書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に活かすことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 指名音読 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【読書】①	(知 技)人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。 (思判表)読書の持つ意味について考えることができるようになった。 (主体性)学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心を持つことができるようになった。	(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する (主体性) 選書し読書する
	【言語事項】③ 漢字・語句の意味	(知 技)常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表)主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。 (主体性)習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【表現の実践】④ 「私の虫類図譜」を作ろう	(知 技)意図が伝わるよう、適切な語句や文体を選び、表現技法などを効果的に用いることができるようになった。 (思判表)設定したテーマをユーモアや皮肉などを効果的かつ的確に文章に表し、特徴をわかりやすく絵で表現できるようになった。 (主体性)学習の狙いや創作の方法をよく理解して学習に積極的に取り組み、他者の批評を自分の表現活動に生かすことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 指名音読 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【メディアを駆使する】⑪ 1通信文を書き分ける 2電話を使いこなす 3電子メールを活用しよう 4ネット社会との付き合い方 5ネットを活用した情報収集 6メディアと情報 表現への扉 5 * 単元テスト	(知 技)情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用することができるようになった。 (思判表)異なる形式で書かれた複数の文章を読み、改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解することができるようになった。 (主体性)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめるようという態度を養うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 指名音読 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性)

			授業態度・発表 課題提出
家庭学習 まで (10時間)	<p>【表現の実践】⑤ 魅力的なポスターを作ろう</p> <p>(知 技) 常用漢字を用い、正しい表記で適切な言葉遣いを用いて表現することができるようになった。</p> <p>(思判表) テーマ設定において、自分の意見とその理由を示しながら話し合うことができるようになった。</p> <p>読み手を意識し、工夫を凝らしてキャッチコピーやボディコピー(広告本文)を作成することができるようになった。</p> <p>(主体性) ポスター作成に積極的に取り組むことができた。</p>	<p>(知 技)</p> <p>ワークシート</p> <p>単元テスト</p> <p>指名音読</p> <p>定期考査</p> <p>(思判表)</p> <p>ワークシート</p> <p>発問評価</p> <p>単元テスト</p> <p>定期考査</p> <p>(主体性)</p> <p>授業態度・発表</p> <p>課題提出</p>	
	<p>【言語事項】⑤ 漢字・語句の意味</p> <p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <p>課題小テスト</p> <p>(思判表)</p> <p>課題小テスト</p> <p>(主体性)</p> <p>授業態度</p> <p>課題提出</p>	

使用教材 参考図書	<p>【教科書】国語表現改訂版（大修館書店）</p> <p>【その他】「実践文字力トリプルチェック」（尚文出版）</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習に力を入れ、教科書・プリントをよく見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする。 ・基礎的事項の繰り返し学習で、知識・技能の定着に努める。 ・板書を写すだけでなく、必要に応じてメモをとる習慣を身に付ける。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見・感想を持つことから始め、考えを文章にまとめるなどを繰り返す。 ・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾け、自身の考えに生かす。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる。
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト ・発問に対する解答や反応等 ・ワークシート・課題作文等 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席・授業態度・ワークシート・提出物

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	-------	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	<p>① (知識・技能) 自立した市民になるために必要な知識を身に付けることができるようになることを目指す。</p> <p>② (思考・判断・表現) 豊かな社会の実現をもたらす経済のしくみについて考えることができるようになることを目指す。</p> <p>③ (主体的に学習に取り組む態度) 多様な現代社会の課題に自らの答えを求める能够性をもつようになることを目指す。</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	1節 民主政治の基本原理	<p>(知 技) 民主政治の成立について理解ができるようになった。</p> <p>(思判表) 「法の支配」と法治主義の違いを考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 民主政治の脆弱性と今日的な課題について自己の課題とすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
	2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構	<p>(知 技) 行政機構のしくみや権限について知ることができるようになった。</p> <p>(思判表) 日本国憲法と大日本帝国憲法を比較して、現行憲法の特色を考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 憲法第9条、集団的自衛権、国際貢献のあり方について自己の課題として考えることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
前前期末 まで (14時間)	4節 現代政治の特質と課題 5節 現代の国際政治	<p>(知 技) 國際社会の特徴、組織を理解できるようになった。</p> <p>(思判表) 國際連盟と國際連合を比較し、改善点と今後の課題を考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 地球環境問題の深刻さと身近な努力の重要性を自己の課題とすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出</p>

			課題提出 授業態度
	1節 現代の資本主義経済	(知 技) 資本主義経済の歴史的成立と特徴を理解できるようになった。 (思判表) 現代の資本主義経済と社会主義経済の変容の関係を考えることができるようになった。 (主体性) 新自由主義をインターネットを利用して調べ、自己の課題とすることができるようになった。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
後期中間 まで (18時間)	2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と産業構造の変化	(知 技) 金利や金融機関の役割について理解を深めることができるようになった。 (思判表) 財政のしくみや日本の財政問題を考えることができるようになった。 (主体性) 「格差社会」の実情を自分の課題として考えることができるようになった。	C (知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	4節 福祉社会と日本経済の課題	(知 技) 公害や環境問題の現状を知ることができるようになった。 (思判表) 日本の農業のあるべき姿について考えることができるようになった。 (主体性) 日本の社会保障制度の現状と課題を調べ、負担と給付のあり方を自己の課題とできるようになった。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
家庭学習 まで (10時間)	5節 国民経済と国際経済 1節 日本社会の諸課題	(知 技) 地域社会を活性化するためにはどうすれば良いかを知ることができるようになった。 (思判表) 若年層の雇用に関する課題と解決策を考えることができるようになった。 (主体性) 日本の農業を取り巻く環境をいかに改善すべきかを自己の課題として考えることができるようになった。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出

		(主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	2節 國際社會の諸課題	(知 技) 原子力等さまざまなエネルギーの特徴を知 ることができるようになった。 (思判表) 紛争や対立の背景から解決。糸口を考え ことができるようになった。 (主体性) 日本のNGOの取組に対して自己の参加を 考えることができるようになった。

使用教材 参考図書	【教科書】政治・経済（東京書籍） 【その他】新聞など各種メディアからの情報
学習方法 どのように学ぶか	【主体的な学び】に関して ・分からず文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと。 ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと。 【対話的な学び】に関して ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること ・分からなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決しようとする姿勢で授業に参加すること。 【深い学び】に関して ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと。
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	【知識・技能】について ・単元ごとの課題レポート ・定期考査 【思考・判断・表現】について ・定期考査 ・単元ごとの課題レポート 【主体的に学習に取り組む態度】について ・Google Classroomにおいてシートを提出 ・学習課題や授業に取り組む態度など

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	1	開講学年	4年
----	----	----	-----	-----	---	------	----

学習目標	①（知識・技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
	②（思考・判断・表現） 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けることができる。
	③（主体的に学習に取り組む態度） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (7時間)	●図形と方程式 点と座標 7時間	（知 技） 直線上、座標平面上の2点間の距離や、線分を内分する点・外分する点の座標を求めることができる。 （思判表） 座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めるために利用して考察できる。 （主体性） 直線上の点や座標平面上の点について、いろいろな距離や座標を求めることが関心をもち、調べようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
前前期末 まで (7時間)	直線の方程式 7時間	（知 技） 座標平面上のいろいろな直線を方程式で表すことができる。直線の傾きに着目して、平行な2直線や垂直な2直線を調べることができる。 （思判表） ある直線に平行な直線や垂直な直線について、その方程式を求めるなどを考察できる。 （主体性） 座標平面上の直線の方程式について関心をもっている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
後期中間 まで (9時間)	円の方程式 9時間	（知 技） 座標平面上の円を方程式で表すことができる。円の方程式から、中心の座標や半径を求めることができる。 （思判表） 円と直線の位置関係や共有点の個数について、考察できる。 （主体性） 式の変形に数学Ⅰで学習した平方完成の知識が活用できることがわかり、関心をもっている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
家庭学習 まで (5時間)	不等式の表す領域 5時間	（知 技） 不等式の表す領域を求めることができる。 （思判表） 不等式について、式の形を適切に変形することで不等式の領域を表せることを考察できる。 （主体性） コンピュータなどをを利用して、いろいろな不等式の表す領域を調べようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
使用教材 参考図書	【教科書】：実教出版 高校数学Ⅱ 【その他】：		

学習方法 <div style="background-color: #f0e6d2; border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どのように学ぶか</div>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切にし、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。
評価方法 <div style="background-color: #f0e6d2; border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習到達状況をどのように確認するか</div>	<p>【知識・技能】について 定期考查、単元テストや演習等の到達度で評価します</p> <p>【思考・判断・表現】について 定期考查、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。</p>

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学B	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	-----	-----	---	------	----

学習目標	① (知識・技能) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
	② (思考・判断・表現) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。
	③ (主体的に学習に取り組む態度) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (14時間)	●数列 数列とその和 14時間	(知 技) 等差数列と等比数列について理解し、一般項や和を求めることができる。 (思判表) 数列の規則性について考察できる。等差数列の項数を求めてから、その和を求めることができる。 (主体性) 身の回りの数の並びに規則性があるか調べ、数列として一般数列を用いて表そうとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
前期期末 まで (14時間)	いろいろな数列 8時間	(知 技) 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 (思判表) 階差数列ともとの数列の一般項との関係について考察することができる。 (主体性) 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
	漸化式と数学的帰納法 6時間	(知 技) 初項の値と漸化式から等差数列と等比数列の一般項を求めることができる。 (思判表) 初項の値と $a_{n+1}=pa_n+q$ の形で表された漸化式から一般項を求めることができる。 (主体性) 数列の隣り合う2つの項の間の関係について考えようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
後期中間 まで (18時間)	●統計的な推測 確率変数 11時間	(知 技) 確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。 (思判表) 組合せを利用して確率変数の平均を求めることができる。 (主体性) 身の回りのデータで、確率変数として考えられるものを見付け、その平均・分散・標準偏差を調べ、データの特徴を把握しようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
	正規分布 7時間	(知 技) 正規分布にしたがう確率変数を標準化することができる。 (思判表) 身の回りのデータを、正規分布を用いて考察し、特定の範囲にある個数などを求めることができる。 (主体性) 身の回りのデータで、正規分布にしたがう確率変数があるか調べ、データの特徴を把握しようとしている。	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題

家庭学習 まで (10時間)	正規分布 統計的な推測 10時間	(知 技) 全数調査と標本調査の違いを理解している。標本平均の分布の特徴を理解している。 (思判表) 標本平均が特定の範囲となる確率を求めることができる。 (主体性) 全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか調べようとしている。	知 技: 考査、小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、質問、課題
使用教材 参考図書	【教科書】: 実教出版 高校数学B 【その他】:		
学習方法 どのように学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切にし、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。 		
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します</p> <p>【思考・判断・表現】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。</p>		

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	3	開講学年	4年
----	----	----	----	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることを目指す
	②（思考・判断・表現） 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことを目指す
	③（主体的に学習に取り組む態度） 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	第3編 無機物質 第1章 非金属元素 1. 元素の分類と周期表 2. 水素・貴ガス元素 3. ハロゲン元素 4. 酸素・硫黄 5. 硫素・リン 6. 炭素・ケイ素 第2章 金属元素（I）-典型元素- 1. アルカリ金属元素 2. アルカリ土類金属元素 3. アルミニウム・スズ・鉛	(知 技) ・元素の分類（典型元素・遷移元素、金属元素・非金属元素）について理解する。 ・周期表に基づきながら、酸化物の示す性質や単体の酸化作用、還元作用を理解する。 ・水素および貴ガスの性質を理解する。 ・水素や貴ガスの利用について理解する。 ・それぞれのハロゲン元素の単体の性質（化学式、状態、色、酸化力、反応性など）を理解する。 ・ハロゲン化水素の性質について理解する。 ・酸素および硫黄の単体や化合物についてその性質を理解する。 ・硫化水素と二酸化硫黄の製法や反応性、沈殿生成について理解する。 ・硫酸の工業的製法を理解する。 ・濃硫酸の性質について理解する。 ・窒素およびリンの単体や化合物について、その性質を理解する。 ・アンモニアの性質やその工業的製法について理解する。 ・硝酸の工業的製法について理解する。 ・炭素の同素体の性質について理解する。 ・炭素の化合物の性質について理解する。 ・ケイ素の単体と化合物について、身近な利用例なども含めて理解する。 ・アルカリ金属元素の単体や化合物の性質を理解する。 ・炎色反応について理解する。 ・炭酸ナトリウムの工業的製法であるアンモニアソーダ法について理解する。 ・アルカリ土類金属元素の単体や化合物の性質を理解する。 ・炎色反応について理解する。 ・カルシウムの化合物の性質や特徴を理解する。 ・アルミニウムの単体や化合物の性質を理解する。	(知 技) ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り

	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミニウムおよびスズ、鉛が両性金属であることを理解する。 ・複塩について理解する。 ・鉛（II）イオンの反応について理解する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周期表に基づいて、元素の分類や周期性を説明できる。 ・水素の性質（例えば還元性）を反応式を用いながら説明できる。 ・水素とヘリウムはともに軽い気体であるが、反応性が異なるために利用のされ方が異なることを説明できる。 ・ハロゲン元素の単体の酸化力に基づき、反応性の強弱を判断できる。 ・単体の塩素の実験室的製法において、水および濃硫酸を用いる順序を判断しその理由を説明できる。 ・単体の塩素の実験室的製法において、発生した塩素の捕集方法を判断できる。 ・オキソ酸の化学式から、酸化数を判断できる。 ・硫酸の工業的製法における量的計算を行うことができる。 ・一酸化窒素と二酸化窒素の性質について理解し、それぞれの製法の化学反応式を書くことができる。 ・オストワルト法について量的計算を行うことができる。 ・炭素の同素体の構造を判断することができる。 ・炭素やケイ素の化合物が関わる化学反応式を書くことができる。 ・ナトリウムの反応について体系立てた知識を表現できる。 ・ナトリウムと水との反応や、アンモニアソーダ法に関わる反応の反応式を書くことができる。 ・カルシウムの反応について体系立てた知識を表現できる。 ・石灰水と二酸化炭素の反応など、カルシウムの化合物に関わる反応の反応式を書くことができる。 ・アルミニウムの反応について体系立てた知識を表現できる。 ・アルミニウムや酸化アルミニウムと酸または塩基の反応の反応式を書くことができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元素の分類や周期表に興味をもつ。 ・水素や貴ガスについて興味をもつ。 ・ハロゲン元素の単体および化合物について興味をもつ。 ・酸素および硫黄の単体や化合物に興味をもつ。 	
--	--	--

		<p>つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窒素およびリンの単体や化合物に興味をもつ。 ・無機物質の工業的製法に興味をもつ。 ・炭素およびケイ素の単体や化合物について興味をもつ。 ・気体の製法と性質についてまとめる。 ・アルカリ金属の単体や化合物に興味をもつ。 ・アルカリ土類金属の単体や化合物に興味をもつ。 ・アルカリ金属元素とアルカリ土類金属元素の類似点と相違点をまとめる。 ・アルミニウムやスズ、鉛などの両性金属の単体や化合物に興味をもつ。 	
前期期末 まで (21 時間)	第3編 無機物質 第3章 金属元素 (II) -遷移元素- 1. 遷移元素の特徴 2. 鉄 3. 銅 4. 銀・金 5. 亜鉛 6. クロム・マンガン 7. 金属イオンの分離・確認	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遷移元素にはどのような元素があるか理解する。 ・遷移元素の特徴について理解する。 ・錯イオンの名称や化学式、書き方、配位数、形について理解する。 ・鉄の単体や化合物の性質を理解する。 ・製鉄についてその過程を理解する。 ・鉄のイオンについて、その性質を理解する。 ・銅の単体や化合物の性質、利用例を理解する。 ・銅 (II) イオンの反応性について理解する。 ・銀の単体や化合物の性質を理解する。 ・金の単体の性質を理解する。 ・銀イオンの反応性について理解する。 ・亜鉛の単体や化合物の性質を理解する。 ・亜鉛の単体や酸化物、水酸化物が両性であることを理解する。 ・クロムの単体や化合物の性質を理解する。 ・マンガンの単体や化合物の性質を理解する。 ・沈殿反応が起こる金属イオンと陰イオンの組合せについて理解する。 ・金属イオンの系統分析について、それぞれの操作の意味性を理解する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液の色から、そこに含まれる遷移元素を判断できる。 ・錯イオンの名称から化学式を、化学式から名称を答えることができる。 ・与えられた錯イオンの形を判断することができる。 ・鉄の反応について体系立てた知識を表現できる。 ・水溶液の色や呈色反応から、含まれる鉄が2価なのか3価なのかを判断できる。 ・製鉄の過程について説明することができる。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・授業の振り返り

	<ul style="list-style-type: none"> ・銅の反応について体系立てた知識を表現できる。 ・銅（II）イオンの沈殿生成や錯イオン形成の反応の反応式を書くことができる。 ・銀の反応について体系立てた知識を表現できる。 ・銀イオンと塩基との反応や銀イオンにアンモニア水を過剰に加えた際の反応の反応式を書くことができる。 ・亜鉛の反応について体系立てた知識を表現できる。 ・亜鉛の単体や酸化物、水酸化物と酸や塩基の反応の反応式を書くことができる。 ・クロム酸イオンの反応について体系立てた知識を表現できる。 ・過マンガン酸イオンの反応について体系立てた知識を表現できる。 ・金属イオンの系統分析の考え方を用いて、複数の金属イオンが存在する水溶液から目的の金属を分離、確認することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遷移元素の特徴について興味をもつ。 ・鉄の単体や化合物に興味をもつ。 ・銅の単体や化合物に興味をもつ。 ・銀の単体や化合物に興味をもつ。 ・亜鉛の単体や化合物に興味をもつ。 ・クロムとマンガンの単体や化合物に興味をもつ。 ・金属イオンの分離や確認に興味をもつ。 	
後期中間 まで (27時間)	<p>第4編 有機化合物</p> <p>第1章 有機化合物の分類と分析</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機化合物の特徴と分類 2. 有機化合物の分析 <p>第2章 脂肪族炭化水素</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素 <p>第3章 アルコールと関連化合物</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸 4. エステルと油脂 <p>第4章 芳香族化合物</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芳香族炭化水素 2. フェノール類と芳香族カルボン酸 3. 芳香族アミンとアゾ化合物 4. 有機化合物の分離 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴について理解する。 ・有機化合物の分類について、炭素骨格での分類や官能基による分類を理解する。 ・有機化合物の表し方について、分子式や構造式、示性式について理解する。 ・異性体について理解する。 ・有機化合物の分析の手順や分離と精製について理解する。 ・有機化合物中の成分元素の検出について理解する。 ・元素分析の実験手順や組成式、分子式の求め方を理解する。 ・直鎖状のアルカンの例やアルカンの融点、沸点について理解する。 ・アルカンの立体構造や構造異性体について理解する。 ・アルカンに特徴的な置換反応について理解する。 ・環式のシクロアルカンについて理解する。 ・不飽和炭化水素であるアルケンやアルキンの分子式とその名称について理解する。 ・アルケンの製法について理解する。 ・二重結合の存在に基づくアルケンの立体構 <p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・授業の振り返り

	<p>造とシストラヌ異性体について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不飽和結合の存在に基づくアルケンやアルキンの付加反応について理解する。 ・アセチレンの製法や立体構造について理解する。 ・アルコールの一般式や構造式、名称、分類について理解する。 ・アルコールの性質、特に沸点が高いことについてその構造に基づいて理解する。 ・アルコールの検出法や脱水反応について理解する。 ・アルコールの酸化反応について、級数の違いによって生成物が異なることを構造式と結びつけながら理解する。 ・身近なアルコールの性質について理解する。 ・エーテルの性質について理解する。 ・アルデヒドやケトンの化学式や構造式、名称について理解する。 ・アルデヒドの反応性、特に還元性および還元性を利用した検出法について理解する。 ・ホルムアルデヒドやアセトアルデヒド、アセトンの性質や製法について理解する。 ・ヨードホルム反応について理解する。 ・カルボン酸の化学式や名称、分類について理解する。 ・カルボン酸の性質や反応性について理解する。 ・ギ酸や酢酸、無水酢酸、ジカルボン酸などの性質について理解する。 ・鏡像異性体について理解する。 ・エステルの化学式や名称について理解する。 ・エステルの性質や反応性、とくにけん化について理解する。 ・油脂の化学式や名称、構造、分類について理解する。 ・油脂の性質や反応性について理解する。 ・セッケンの製法と洗浄作用、性質について理解する。 ・合成洗剤の性質について理解する。 ・ベンゼン環の構造とその特徴について理解する。 ・芳香族炭化水素の化学式や名称について理解する。 ・ベンゼンの置換反応（ハロゲン化、スルホン化、ニトロ化）について理解する。 ・ベンゼンの付加反応や酸化反応について理解する。 ・フェノール類と芳香族カルボン酸の化学式や名称について理解する。 ・フェノール類の性質について、アルコール
--	---

	<p>との差異を確認しながら理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェノールとカルボン酸の酸の強さについて理解する。 ・フェノールの置換反応と製法について理解する。 ・フタル酸とその異性体や関連する酸無水物の化学式を理解する。 ・サリチル酸の構造とその反応性を理解する。 ・サリチル酸メチルとアセチルサリチル酸、およびそれらを用いた医薬品について理解する。 ・芳香族アミンとアゾ化合物の化学式や名称を理解する。 ・アニリンの製法や検出法について理解する。 ・ジアゾ化およびジアゾカップリングについて理解する。 ・芳香族のアゾ化合物は染料として用いられていることを理解する。 ・有機化合物の分離の原理について理解する。 ・有機化合物の酸性・塩基性について、その強さの順とともに理解する。 ・有機化合物の分離の例について、その実験操作の意味とともに理解する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物を炭素骨格や官能基の違いに基づいて分類することができる。 ・有機化合物を、分子式や構造式、示性式で表すことができる。 ・与えられた実験結果から、元素分析を行い、有機化合物の組成式や分子式を求めることができます。 ・与えられた分子式からアルカンの構造異性体やその名称を書き出すことができます。 ・アルカンの置換反応の化学反応式を書くとともに生成物の名称を書くことができます。 ・アルケンやアルキンの反応について、反応物や生成物の構造式やその名称を答えることができます。 ・アルケンやアルキンの反応について、化学反応式を書くことができます。 ・アルケンやアルキンの立体構造を判断することができます。 ・アルコールやエーテルについて、その構造式や名称を答えることができます。 ・アルコールを級数や反応性に基づいて分類することができます。 ・アルコールの反応について、反応物や生成物の構造式やその名称、反応式を答えることができます。 ・アルデヒドやケトンの反応性に基づき、構
--	--

	<p>造式や名称を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルボン酸の関わる反応の反応式を書くことができる。 ・鏡像異性体をもつ有機化合物の構造式を書くことができる。 ・エステルの性質や反応性などに基づいて、その構造式や名称を書くことができる。 ・油脂の分子式や分子量を求めることができる。 ・油脂の構造を判断することで、油脂の反応における量的関係の計算をすることができる。 ・セッケンの示す性質に基づき、反応式を書くことができる。 ・芳香族炭化水素の名称や化学式を書くことができる。 ・ベンゼンの置換反応や付加反応、酸化反応を構造式を用いた化学反応式で示すことができる。 ・ベンゼンの反応を体系的に示すことができる。 ・フェノール類や芳香族カルボン酸が関係する反応の化学反応式を示すことができる。 ・反応性や検出法、酸の強さなどに基づいて、フェノール類や芳香族カルボン酸を区別することができる。 ・芳香族アミンやアゾ化合物が示す反応の反応式を示すことができる。 ・反応性や検出法などに基づいて、芳香族アミンやアゾ化合物を区別することができる。 ・有機化合物の分離の原理の考え方に基づいて、与えられた混合物から目的の有機化合物を分離することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴や分類について興味をもつ。 ・元素分析を中心とした有機化合物の分析について興味をもつ。 ・アルカンの特徴や構造、反応性について興味をもつ。 ・アルケンやアルキンの特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・アルコールやエーテルの特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・アルデヒドやケトンの特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・カルボン酸の特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・鏡像異性体の特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・エステルや油脂、セッケンの特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 	
--	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・ベンゼンや芳香族炭化水素の特徴や構造、反応性について興味をもつ。 ・フェノール類や芳香族カルボン酸の特徴や構造、反応性について興味をもつ。 ・芳香族アミンやアゾ化合物の特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・有機化合物の分離について興味をもつ。 ・芳香族化合物の反応系統図に興味をもつ。 	
家庭学習 まで (15時間)	第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 1. 高分子化合物の構造と性質 第2章 天然高分子化合物 1. 糖類 2. アミノ酸とタンパク質 3. 核酸 第3章 合成高分子化合物 1. 合成繊維 2. 合成樹脂 3. ゴム 終章 化学とともに歩む	(知 技) <ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の定義や分類、構造について理解する。 ・高分子化合物の重合方法について理解する。 ・高分子化合物の特徴について理解する。 ・単糖、二糖、多糖に分類されるそれぞれの糖類の化学式と構造、名称、反応性について理解する。 ・ヘミアセタール構造をもつと還元性を示すことを理解する。 ・二糖および多糖の加水分解について、用いる酵素なども含めて理解する。 ・多糖の構造に基づく性質について理解する。 ・セルロースの誘導体について、その製法や名称、利用例を理解する。 ・α-アミノ酸の示性式や特徴、検出方法、反応性について理解する。 ・双性イオンと等電点の考え方を理解する。 ・アミノ酸がモノマーであり、そのポリマーがタンパク質やペプチドであることを理解する。 ・タンパク質の構造や分類、性質、検出方法について理解する。 ・酵素のはたらきや反応条件について、タンパク質の性質などもふまえながら理解する。 ・核酸を構成する糖と塩基、リン酸について理解する。 ・DNAとRNAの構造やその違いについて理解する。 ・DNAの二重らせん構造において、塩基対どうしが水素結合していることを理解する。 ・合成高分子化合物の分類について理解する。 	(知 技) <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り

- ・ナイロン 66, ナイロン 6, ポリエチレンテレフタラート, ポリエチレン, ビニロンなどの重合について理解する。
- ・ナイロン 66, ナイロン 6, ポリエチレンテレフタラート, ポリエチレン, ビニロンなどの利用例について理解する。
- ・熱可塑性樹脂および熱硬化性樹脂の名称や単量体, 利用例, 性質を理解する。
- ・フェノール樹脂の合成について, 反応の条件や中間生成物（ノボラックやレゾール）を理解する。
- ・イオン交換樹脂について, その構造と性質, 利用例を理解する。
- ・天然ゴムの構造の特徴について理解する。
- ・加硫による構造の変化について理解する。
- ・合成ゴムの名称と単量体, 利用例, 性質について理解する。
- ・化学で学んだ内容と人間生活の結びつきについて理解する。

(思判表)

- ・高分子化合物を分類することができる。
- ・高分子化合物の重合の方法や分子量, 特徴について判断することができる。
- ・化学式や名称, 構造, 性質に基づいて糖類を分類することができる。
- ・糖類の加水分解の際に用いる酵素を適切に判断することができる。
- ・糖類が関わる反応の反応式に基づいて量的関係の計算ができる。
- ・アミノ酸の構造式を書くことができる。
- ・アミノ酸の構造に基づいてその性質を判断することができる。
- ・アミノ酸の関わる反応の反応式を書くことができる。
- ・アミノ酸やタンパク質の構造や性質をふまえ, 量的計算を行うことができる。
- ・アミノ酸の検出方法をふまえ, タンパク質に含まれるアミノ酸を判断することができる。
- ・DNA や RNA を構成する塩基や糖の種類を判断することができる。
- ・DNA と RNA の違いを判断することができる。
- ・ナイロン 66, ナイロン 6, ポリエチレンテレフタラート, ポリエチレン, ビニロンなどの合成繊維の構造式を書くことができる。
- ・構造式に基づいて, 合成繊維に関する量的計算を行うことができる。
- ・熱可塑性樹脂の構造式を書くことができる。
- ・フェノール樹脂の合成において, 反応条件と中間生成物を関連付けて判断することができる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン交換樹脂の原理の理解をもとに、イオン交換樹脂の関わる量的計算を行うことができる。 ・イソブレンと天然ゴムの構造式を書くことができる。 ・ジエン系ゴムの構造式を書くことができる。 ・構造式や反応式に基づいて、量的計算を行うことができる。 ・身のまわりで用いられている化学で学んだ内容について説明することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の性質や構造について興味をもつ。 ・糖類の特徴やその構造、反応性、利用例について興味をもつ。 ・アミノ酸やタンパク質の特徴やその構造、反応性について興味をもつ。 ・核酸の特徴やその構造について興味をもつ。 ・合成繊維の特徴やその重合方法、構造、利用例について興味をもつ。 ・合成樹脂の特徴やその重合方法、構造、利用例について興味をもつ。 ・天然ゴムや合成ゴムの特徴や構造、利用例、性質について興味をもつ。 ・化学（科学）が社会においてなすべきことについて興味をもつ。 	
--	--	--

使用教材 参考図書	【教科書】：新編化学（数研出版）
学習方法 どのように学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験レポート」、「ノート」など

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	開講学年	4年
----	------	----	----	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） 運動の多様性や体力の必要性について理解できることを目指す 仲間と適切な関係を築き、合理的な実践ができるようになることをを目指す
	②（思考・判断・表現） 課題を発見し、課題解決の過程を思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになることをを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人を大切にしようとするとともに、健康・安全を確保できるようになることをを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	◎体つくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	(知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前前期末 まで (21時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期中間 まで (27時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
家庭学習 まで (15時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	◎体育理論 ※後期期末考查後から	※体育理論 (知 技) ●豊かなスポーツライフの設計について理解することができるようになった。	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・出席状況 ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】: なし 【その他】: なし
学習方法 どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
準備物	Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ	単位数	2	開講学年	4年
----	-----	----	--------	-----	---	------	----

学習目標		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	話すこと[やり取り]	<p>「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合うことができるようになる。</p>
何ができるようになるか	話すこと[発表]	<p>「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとすることができるようになる。</p>
	書くこと	<p>「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間まで (14時間)	L 1 現在形 L 2 過去形 L 3 進行形 L 4 未来	【書くこと】 (知 技) ●現在形、過去形、進行形、未来の用法を理解できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末まで (14時間)	L 5 助動詞① L 6 助動詞② L 7 現在完了形① L 8 現在完了形② L 9 受動態	【話すこと（やり取り）】 (知 技) ●助動詞、現在完了形、受動態の用法を理解できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に伝え合おうとすることができるようになる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間まで (18時間)	L 10 比較① L 11 比較② L 12 動名詞 L 13 to 不定詞① L 14 to 不定詞② L 15、16 分詞・関係代名詞	【書くこと】 (知 技) ●比較、動名詞、不定詞、分詞、関係代名詞の用法を理解できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に書こうとすることができるようになる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末まで (14時間)	L 17 関係代名詞② L 18 関係副詞 L 19 仮定法過去 L 20 接続詞	【話すこと（やり取り）】 (知 技) ●関係代名詞、関係副詞、仮定法過去、接続詞の用法を理解できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に伝え合おうとすることができるようになる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式まで (4時間)	総復習	【話すこと（発表）】 (知 技) ●1年間に学習した文法事項の用法を再確認できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に伝えようとすることができるようになる	(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度
家庭学習 (10時間)	Scene 1- Scene 4 場面別英語表現集による既習事項の復習とまとめ	【話すこと（やり取り）】 (知 技) ●それぞれの文法事項を理解し、場面で活用できる。 (思判表) ●学んだ知識を応用して、自分の考えを書いて伝えることができる (主体性) ●英語で主体的に伝え合おうとすることができるようになる	(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】: Amity English Logic and Expression 1 (論理・表現 1) 【その他】: 補助プリント
学習方法 どのように学ぶか	【主体的な学び】について 教科書の内容を予習し、自分の課題を見付け、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】について 分からることは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】について 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自國のことについて調べて、まとめができるようにする。
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物等

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語論理表現	単位数	1	開講学年	4年
----	-----	----	--------	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合うことができるようになる。</p>
	<p>「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとすることができるようになる。</p>
	<p>「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	評価物
前期中間 まで (7時間)	UNIT 0 UNIT 1 UNIT 2	【話すこと（やりとり）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (7時間)	UNIT 3 UNIT 4	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (9時間)	UNIT 5 UNIT 6	【話すこと（発表）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (7時間)	UNIT 7 UNIT 8		(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (2時間)	UNIT 9 UNIT 10		(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：基礎からのジャンプアップノート 英作文 演習ドリル 【その他】：補助プリント
学習方法 どのよ うに学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からることは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようとする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようとする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自國のことについて調べて、まとめることができるようとする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	----	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	<p>①（知識・技能） 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることをめざす。</p> <p>②（思考・判断・表現） 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応できるようになることをめざす。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになることをめざす</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (14時間)	●第12章 決算(その1)	<p>(知 技) ●決算の記録・計算・整理に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●決算整理を含んだ決算について、一定の方に従って判断処理ができるようになった</p> <p>(主体性) ●基本的な決算整理を加えた決算に関心を高め、その決算処理の学習を的確に主体的に行おうとすることができるようになった</p>	<p>知 技 ・定期考査</p> <p>思判表 ・提出物</p> <p>主体性 ・授業態度</p>
	●第13章 手形取引の記帳	<p>(知 技) ●手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断することができるようになった</p> <p>(主体性) ●手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった</p>	
前期期末 まで (14時間)	●第14章 その他の債権・債務の処理	<p>(知 技) ●その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●その他の債権・債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった</p> <p>(主体性) ●その他の債権・債務の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった</p>	<p>知 技 ・定期考査</p> <p>思判表 ・提出物</p> <p>主体性 ・授業態度</p>
	●第15章 販売費及び一般管理費の記帳	<p>(知 技) ●販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった</p> <p>(思判表) ●販売費及び一般管理費に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった</p> <p>(主体性) ●販売費及び一般管理費の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進める</p>	

		ことができるようになった	
	●第 16 章 資本金の記帳	(知 技) ●資本金の取引等に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった (思判表) ●資本金に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった (主体性) ●資本金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった	
後期中間まで(18時間)	●第 17 章 決算(その 2)	(知 技) ●貸し倒れの見積もり、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の繰り延べと見越しをともなう決算の手続きが理解できるようになった (思判表) ●進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理ができるようになった (主体性) ●作成した会計帳簿や貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を把握することができるようになった	
	●第 18 章 帳簿	(知 技) ●これまで学んでいる諸帳簿の記帳法が理解できるようになった (思判表) ●ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができる、適切に表現することができるようになった (主体性) ●・帳簿の種類や形式について関心を高めることができるようにになった	知 技 ・定期考查 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
	●第 19 章 仕訳伝票と 3 伝票制	(知 技) ●仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法が理解できるようになった (思判表) ●入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるようになった (主体性) ●伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとすることができるようになった	
家庭学習まで(10時間)	●第 20 章 会計ソフトウェア	(知 技) ●取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点が理解できるようになった (思判表) ●会計ソフトウェアをどのように活用するかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるようになった (主体性) ●会計ソフトウェアの活用に関心を高め、その運用方法について積極的に学ぶことができるようになった	知 技 ・小テスト 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
	●第 21 章 有価証券とその他の手形取引の記帳	(知 技) ●有価証券の取引に関する基本的な内容とその記帳法、手形の書き換え、不渡手形等の取引の記帳に関する基本的な内容と記帳法が理解できるようになった (思判表) ●有価証券とその他の手形取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現	

		することができるようになった (主体性) ●有価証券とその他の手形取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとすることができるようになった	
--	--	--	--

使用教材 参考図書	【教科書】:「高校簿記」(実教出版) 【その他】: ①「最新段階式 全商3級簿記検定問題集」(実教出版) ②「よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級」(TAC出版) ③独自作成プリント
学習方法 どのように学ぶか	【主体的な学び】に関して 実務に即した例題を取り入れた学習活動に粘り強く取り組んでください。 【対話的な学び】に関して 取引の記録と財務諸表の作成方法についてグループで考察し討論を行います。 【深い学び】に関して 基本的な会計用語については英語表記に慣れ親しむことができるようになるとともに、企業会計に関する法規と基準の改正などに隨時対応できるようになってください。
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、記帳問題 【思考・判断・表現】について 財務諸表の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	2	開講学年	3年
----	----	----	----	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	<p>①（知識・技能） 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることをめざす。</p> <p>②（思考・判断・表現） 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決できるようになることをめざす。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組むことができるようになることをめざす。</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間まで (14時間)	<p>● 4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法</p>	<p>（知 技） ●各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できるようになった ●ビジネス文書の作成について実務に即して理解できるようになった （思判表） ●様々な文書を適切に選択できるようになった （主体性） ●ビジネス文書による適切な情報の発信に主体的かつ協働的に取り組もうとすることができた</p>	知 技 ・定期考査 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
前期期末まで (14時間)	<p>● 4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 基本文書の作成 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書 3節 応用文書の作成</p>	<p>（知 技） ●ビジネス文書の作成について実務に即して理解できるようになった ●ワープロの機能などを理解できるようになった ●データの差し込み機能などを理解できるようになった （思判表） ●ビジネス文書の作成に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、文書で発信することが必要な情報を表現し、評価・改善することができるようになった ●ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成できるようになった ●必要に応じて様々な機能を選択できるようになった ●表計算ソフトウェアと連携した文書作成ができるようになった （主体性） ●ビジネス文書による適切な情報の発信に主体的かつ協働的に取り組もうとすることができた ●計算機能やグラフ、イラストなどを利用した表現力に富んだ文書の作成に積極的に取り組めるようになった</p>	知 技 ・定期考査 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
後期中間まで (18時間)	<p>● 5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法</p>	<p>（知 技） ●プレゼンテーション活動の意義や役割が理解できるようになった ●プレゼンテーションについて実務に即して理解で</p>	知 技 ・定期考査 思判表

	2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	<p>きるようになった (思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報収集や整理、内容構成など、プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れや基礎的な技法を身に付けることができた ●目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができるようになった ●聴衆が理解しやすい資料や構成で作成できるようになった (主体性) ●実習や探究問題に主体的に取り組むことができるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 主体性 ・授業態度
家庭学習まで (10時間)	●総合演習	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々なソフトウェアと連携した文書などが作成でき、多様な機能などが理解できるようになった (思判表) ●各種ソフトウェアを活用し、実習に積極的に取り組み、適切な文書などに必要な処理などを考察できるようになった (主体性) ●適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった 	<p>知 技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト <p>思判表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物 <p>主体性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：「最新情報処理」（実教出版）</p> <p>【その他】：①「全商情報処理検定模擬問題集3級」（実教出版） ②独自作成プリント</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して 企業において情報を扱う具体的な場面を想定した実習に粘り強く取り組んでください。</p> <p>【対話的な学び】に関して 情報の管理や活用に関する分析、表現方法や伝え方の工夫についての考察やグループでの話し合いに積極的に取り組んでください。</p> <p>【深い学び】に関して 発展できな学びとして、様々なプログラミング言語から目的に応じた適切な言語を選択できるようになってください。</p>
評価方法	<p>【知識・技能】について 定期考查、単元テスト、実技テスト</p> <p>【思考・判断・表現】について 作品の作成、発表、グループでの話し合い、定期考查</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等</p>

令和7（2025）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	---------	-----	---	------	----

学習目標 何ができるようになるか	<p>①（知識・技能） 栄養、食品、献立、調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができるようになることをめざす</p> <p>②（思考・判断・表現） 食生活の現状から課題を発見し、解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫を考えることができるようになることをめざす</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 食生活の現状と課題を把握し、食生活の充実を目指し、協働的に取り組むことができるようになることをめざす</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間まで(14時間)	第1章 健康と食生活 ・食事の意義と役割 ・食を取り巻く現状	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中食、外食、内食が理解できるようになった ・地産地消、ポストハーベスト、遺伝子組換え作物の定義を理解できるようになった ・日本の食生活の変化をグラフから読み取ることができるようにになった （思判表） ・日本人の栄養摂取の特徴と問題点を知り、自分の食生活を振り返ることができるようになった ・日本の食生活は、海外の負担なくして成り立っていないことを理解することができるようになった （主体性） ・自らの食生活を振り返ることができるようになった 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（思判表） ・定期考査 ・ワークシート（主体性） ・ワークシート
	第2章 栄養素・食品の特徴 ・栄養素の働き	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の役割、種類が科学的に理解できるようになった （思判表） ・からだの中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのかを考えることができるようになった （主体性） ・家庭総合の学習を踏まえ、五大栄養素の働きを振り返ることができるようになった 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（思判表） ・定期考査 ・ワークシート（主体性） ・ワークシート
	第4章 調理実習 ・調理実習に入る前に ・日常食：日本料理献立	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった （思判表） ・食事のテーマに応じた配膳ができるようになった （主体性） ・身支度、手洗いを励行できるようになった 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・調理実習 ・実習の記録（思判表） ・調理実習 ・実習の記録（主体性） ・調理実習 ・実習の記録
前期期末まで(14時間)	第2章 栄養素・食品の特徴 ・健康に必要な栄養素 ・食品の特徴	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の特徴、調理性、加工について理解できるようになった ・栄養素ではないが、水もからだを維持するために大切な要素であることを理解できるようになった 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート（思判表） ・定期考査

		<p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素と食品の学習を結びつけ、日常の食事の改善点について考えることができるようになった (主体性) ・食品に関わることを調べ、まとめができるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第4章 調理実習 <ul style="list-style-type: none"> ・日常食：中国料理献立 ・日常食：洋風料理献立 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のテーマに応じた配膳ができるようになった (主体性) ・身支度、手洗いを励行できるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・調理実習 ・実習の記録 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 ・実習の記録 (主体性) ・調理実習 ・実習の記録
後期中間 まで (18時間)	第2章 栄養素・食品の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・食品加工の目的 ・食品の選択と取り扱い 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの加工食品と、加工の目的が理解できるようになった ・食中毒の特徴を知り、リスクを減らす技術を身につけることができるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な食品の加工について想像することができるようになった ・食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになった (主体性) ・食中毒の危険性について知り、正しい予防ができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第3章 調理と献立 <ul style="list-style-type: none"> ・調理の基本 ・ライフステージと食事計画 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理の目的や操作について理解できるようになった ・各ライフステージの栄養について理解できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の持つ調理性や特徴を献立作成に活かすことができるようになった ・食事のテーマに応じた調理操作を考え、作業の計画を立てることができるようになった (主体性) ・「日本人の食事摂取基準」や「4つの食品群による摂取量のめやす」などを活用し、ライフステージに応じた食事計画を立てることができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第4章 調理実習 <ul style="list-style-type: none"> ・日常食：日本料理献立 ・日常食：洋風料理献立 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のテーマに応じた配膳ができるようになった (主体性) ・身支度、手洗いを励行できるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・調理実習 ・実習の記録 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 ・実習の記録 (主体性) ・調理実習 ・実習の記録

家庭学習 まで (10時間)	第3章 調理と献立 ・食文化を見つめる	(知 技) ・年中行事や地域の郷土料理など食と生活のかかわりを理解できるようになった ・日本料理の献立や作法について興味をもち、その内容を理解できるようになった (思判表) ・それぞれの時代についての問題点や消費者としてのあり方も含めて考えしていくことができるようになった ・からだの中で栄養素がどのような働きをするのかを考え、各ライフステージにおける適した食事について判断することができるようになった (主体性) ・近年の食生活の実態を自ら調査したり、その生活を想像し情報を整理したりすることができるようになった	(知 技) ・ワークシート (思判表) ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第4章 調理実習 ・行事食：クリスマス料理 ・行事食：正月料理	(知 技) ・調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった (思判表) ・食事のテーマに応じた配膳ができるようになった (主体性) ・身支度、手洗いを励行できるようになった	(知 技) ・調理実習 ・実習の記録 (思判表) ・調理実習 ・実習の記録 (主体性) ・調理実習 ・実習の記録

使用教材 参考図書	【教科書】：「フードデザイン Cooking & arrangement」 教育図書
学習方法 どのように学ぶか	【主体的な学び】に関して ・授業を受けながら、大切だと感じた箇所等にアンダーラインを引く ・自らの食生活の現状から、課題を見出し、その解決を図りながら、実践、改善等を行う 【対話的な学び】に関して ・単元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えをまとめ、班で意見交換を行う 【深い学び】に関して ・新聞記事等を利用し、学んだことをリンクさせ、深い学びに繋げる ・実験、実習を通して、知識を深める
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	【知識・技能】について 定期考查、単元小テスト、調理実習 【思考・判断・表現】について 定期考查、単元小テスト、調理実習、実習の記録、ワークシート、発表 【主体的に学習に取り組む態度】について 定期考查、調理実習、実習の記録、ワークシート、授業態度